

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①極めて高いレベルの文武両道のもと、高い学力、幅広い教養を身につけ、国際社会のリーダーとしての資質を培う教育課程を編成し、全職員で組織的に取組み、実現させる。	①「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践に向けて組織的に授業改善を更に推進する。  ●主体性、組織力、リーダーシップを育成する。	① 担当学年・教科を超えて、組織的に ICT の活用も必要に応じて取り入れ、授業改善を推進する。  ● 集団で活動し、新たな学びを構築する探究活動を推進する。  ● 生徒の主体性やリーダーシップを養うための支援を教員間で共有して指導する。	① 教員間での授業参観を全員が行ったか。  ● 学校行事を通して生徒が思考力・判断力・表現力等を発揮し、課題を解決するために主体的に行動できたか。  ● 教員間で支援について共有し実行できたか。					
2 生徒指導・支援	①次世代リーダーとして、世界に通用する人間としての高い倫理観や、心豊かで他者を思いやることのできる人間性、自律的・主体的な態度を育成する。  ②個別の生徒の課題について、迅速にまた計画的に組織的に対応する。	①全職員で課題を共有して、一致した生徒指導・支援を行う。  ②個別の生徒の課題を把握、共有化して支援し、課題解決を図る。	①自身を取り巻くさまざまな事柄に関心を持つことの重要性や、授業規律や公共のマナー遵守について、授業、HR、集会等で継続して伝え、指導する。  ②生徒の課題を把握するため、ケース会議やスクールカウンセラーを活用して迅速に対応する。	①将来のリーダーとしてふさわしい自律的な態度やマナーを身につけさせることができたか。  ②報告・連絡・相談を円滑に行い、計画的に課題解決に向けて取り組むことができたか。					
3 進路指導・支援	①進路支援グループ、学年、部活動顧問等で連携して、3年間を見通しての計画的かつ最後まであきらめさせない進路指導を徹底する。  ②世界に目を向け、「最も困難な道に挑戦する」高い志を育	①進路指導計画を見直し、生徒一人ひとりの状況を把握することで、全職員が連携して進路指導を行う。	① 新型コロナウイルスに柔軟に対応しつつ、学力向上のために、進路指導計画の見直しを行っていく。  ● 入学から受験期まで、難関大学をあきらめない指導を、生徒	① 進路指導計画を見直し、生徒の進路意識を高めることができたか。  ● 生徒の分析を行い共有して、指導することができたか。  ● 実力テスト後					

		成する取組みを推進する。		を分析し、全職員が連携して意識を共有する。  ●実力テスト後の分析を共有し、指導方針を明確に生徒に発信する。	に分析し、各担当が進路指導に活用できたか。					
4	地域等との協働	○地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりをめざす。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえた、生徒の地域交流を行う。	各行事における地域交流の方法について検討する。  ●学校の取組を地域に発信できたか。	●地域交流や地域と連携した活動をすることができたか。  ●学校の取組を地域に発信できたか。					
5	学校管理 学校運営	①教育公務員としての高い倫理観と同僚性を保持し、学校目標達成に向けて堅固に協力するとともに、事故・不祥事を起こさない職場環境の形成に向けて、職員一人ひとりが意識して行動する。  ②働き方改革を推進するために教員の意識改革を図る。	①職員一人ひとりが、事故・不祥事防止に向けて、当事者意識をもって取り組む。  ②学校閉庁日を設定するとともに、一人ひとりが、働き方について意識改革を図る。	①報告・連絡・相談を円滑に行い、事故防止に努め、協力して学校目標の達成に向けて、各業務に取り組む。  ②●学校閉庁日には休暇を取得するように努める。  ●打合せや会議文書作成の効率化を図り効率的な情報提供の定着に努める。	①●財務事務調査結果が昨年度より改善したか。  ●事故・不祥事数0を達成したか。  ②●一人ひとりの夏季休暇・年休等の取得日数が昨年度より増加したか。  ●会議の短時間化が図れたか。					